

NO.	種名称 (学名)	カテゴリー	解説	生活	声	見分け方	時期												参考文献		
1	エナガ Aegithalos caudatus	スズメ目 エナガ科	背にワインレッドの羽を持った、尾の長い白っぽい小鳥。ユーラシア大陸の温帯から亜寒帯で広く繁殖し、日本でも北海道から九州までの全国に留鳥として分布し、繁殖する。冬期もあまり移動しないが、高い山のものはやや山麓へ下りるという。北海道の亜種シマエナガは成鳥で過眼線がなく、白い顔をしている。	丘陵から山地の雑木林、カラマツ林、マツ林、落葉広葉樹林の自然林などさまざまな林で生活し、林から出ることは少ない。林内を移動しながら枝先に逆さにぶら下がって昆虫類をとったり、停空飛翔して木の幹から餌をついばんだり樹液を吸ったりする。群れは一定の行動範囲を持ち、夜はやぶの中のねぐらで、体を寄せ合って枝にとまっているという。カラ類との混群も作る。	特別なさえずりはないようで「ツイーチリリリ」という高い声や「ジュリジュリ」という濁った声をよく出す。そのほか「チーチーチー」とか「チャッ」という声も出すが、いずれも細く小さな声である。群れている時には、よく鳴き交わしている。	長い尾や丸っこい体、小さなくちばしでシルエットでも見分けられる。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	山溪カラー名鑑『日本の野鳥』：山と溪谷社